

2025年10月5日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**
第68巻第25号(通算3462号)
教会設立 1959年6月14日

しゅうほう
週報

教会標語

小さくされている人を
大切に^{たいせつ}する^{きょうかい}教会



〒581-0072 主任担任教師・牛田 匡 牧師
大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10 隠退教師・小林 達夫 牧師
TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト) <http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

kyuho-church@koinonia.or.jp

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に^{たいせつ}する神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ5:5)

せかいせいさんびれいはい せいれいこうりんせつだいい しゅじつれいはい
世界聖餐日礼拝 (聖霊降臨節第18主日礼拝)

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでもご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂けます》

ぜんそう もくとう ちよさくけんしやうめつ
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)
まね ことば しへん へん せつ
招きの詞 詩編 119編 33-35節
さんびか ばん しゅ きやうだんしゅつばんきよく
賛美歌 21-197番「ああ主のひとみ」(©教団出版局)
せいしょ ふくいんしよ しょう せつ
聖書 マタイによる福音書 19章 16-30節

いの
お祈り
さんびか ばん こうゆ さんびかいいんかい
賛美歌 21-567番「ナルドの香油」(©讚美歌委員会)

ひと ねが かみ ねが うしだ ただし ぼくし
メッセージ「人の願いと神の願い」 牛田 匡 牧師
さんびか ばん きやうだんしゅつばんきよく
賛美歌 21-553番「キリストがわけられた」(©教団出版局)
ユーカリスト うしだ ただし ぼくし
聖餐 牛田 匡 牧師

きやうどう いの へいわ
共同のお祈りと、平和のあいさつ
さんびか ばん な ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

しゅ いの
主の祈り
ささげもの
献げ物(*)
は けん ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく うしだ ただし ぼくし
祝福 牛田 匡 牧師
うそ ばん きやうだんさんびかいいんかい
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番)(©教団讚美歌委員会)
ほうこく ページ さんしやう
報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

*受付に献金箱がございます。

「献げ物(献金)」はご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 詩編 119 編 33-35 節 (聖書協会共同訳)

33 主よ、あなたの^{おきて}掟の道を示してください

私が終わりまでそれに従うことができるように。

34 私に悟らせてください

あなたの律法に従い

心を尽くしてそれを守れるように。

35 あなたの^{いまし}戒めの道に導いてください。

私はそれを喜びとします。



聖書 マタイによる福音書 19 章 16-30 節 (聖書協会共同訳)

16 すると、一人の人がイエスに近寄って来て言った。「先生、永遠の命を得るには、どんな善いことをすればよいのでしょうか。」17 イエスは言われた。「なぜ、善いことについて、私に尋ねるのか。善い方はおひとりである。命に入りたいと思うなら、戒めを守りなさい。」18 彼が「どの戒めですか」と尋ねると、イエスは言われた。「『殺すな、姦淫するな、盗むな、偽証するな、19 父と母を敬え、また、隣人を自分のように愛しなさい。』」20 この青年は言った。「そういうことはみな守ってきました。まだ何か欠けているのでしょうか。」21 イエスは言われた。「もし完全になりたいのなら、行って持ち物を売り、貧しい人々に与えなさい。そうすれば、天に宝を積むことになる。それから、私に従いなさい。」22 青年はこの言葉を聞き、^a悩みつつ立ち去った。たくさんの財産を持っていたからである。

23 イエスは弟子たちに言われた。「よく言っておく。金持ちが天の国に入るのは難しい。24 重ねて言うが、金持ちが神の国に入るよりも、らくだが針の穴を通るほうがまだ易しい。」25 弟子たちはこれを聞いて非常に驚き、「それでは、誰が救われることができるのでしょうか」と言った。26 イエスは彼らを見つめて、「それは人にはできないが、神には何でもできる」と言われた。27 その時、ペトロがイエスに言った。「このとおり、私たちは何もかも捨てて、あなたに従って参りました。では、私たちは何をいただけるのでしょうか。」28 イエスは一同に言われた。「よく言っておく。新しい世界になり、人の子が栄光の座に着くとき、私に従って来たあなたがたも、十二の座に着いて、イスラエルの十二部族を裁くことになる。29 また、私の名のために、家、兄弟、姉妹、父、母、子、畑を捨てた者は皆、その百倍もの報いを受け、永遠の命を受け継ぐ。30 しかし、先にいる多くの者が後になり、後にいる多くの者が先になる。」

(脚注 a: 別訳「悲しみながら」)

《先週のメッセージより》2025年9月28日

「7の70倍まで赦しなさい」

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 18章21-35節

今回のお話は「赦し」についてでした。「きょうだいが私に対して罪を犯したなら、何回赦すべきでしょうか」というペトロの問いに対して、イエス様は「7の70倍まで赦しなさい」(21-22)と答えられたというお話でした。そしてその後には、王に対して莫大な借金のあった家来が、王から借金を帳消しにしてもらうという寛大な措置を受けたにもかかわらず、自分に借りのある仲間に対しては、大変厳しく接したために、主君の怒りを買って引き渡されたというたとえ話が続けられました。このお話は単に「誰だって失敗することはあるのだから、相手の話を聞いて、赦すことが大切だ」と私たちに告げているのでしょうか。そもそも、このお話に登場する2人の家来たちは、「きょうだい」や「仲間」と呼べるような対等な関係ではありませんでした。王に莫大な借金のあった前者は社会の極一部の支配階級の権力者側にいた家来であり、彼から借金をしていた後者はそれらの権力者たちによって踏みつけられていた庶民の一人でした。そして前者の借金、負債というものは、人間に対するものではなく、神に対する負債でした。それは人間の力では決して返すことができないものです。王、神の方もそのことを分かっていました。だからこそ家来の懇願の言葉に耳を傾け、放免したのでしょうか。一方で王から負債を帳消しにされたその家来は、自分に対して借金のある仲間の声に耳を傾けることはありませんでした。つまり、自分よりもさらに弱い者を踏みつけたということです。そして神はそんな彼を赦しませんでした。

これらのお話が伝えていることは、幾度となく失敗を繰り返し、道を踏み外す私たちに「ひたすら赦し続けなさい」ということではなく、むしろ、互いの弱さを分かり合いながら、対等な関係を持つ者同士として共に生きる。決して、どちらかが上に立ち、他方を踏みつけるような関係であってはならない、ということなのではないかと思えます。なぜなら私たちは皆、神様から決して返さざることを出来ないほどの大きな恵みを頂いてこそ、今日も生かされているのだから。「7の70倍まで赦しなさい」。それは周りにいる人たちと、共に生きるということ。「共に生きることが出来る」ということを諦めないことなのではないでしょうか。今日も私たちは神様からの大きな恵みを頂いて、生かされていることを思いながら、イエス様に従う道へと押し出されて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube

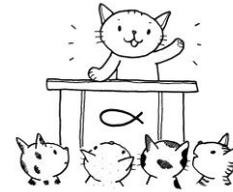


◎ 先週の報告 2025年9月28日

教会での礼拝は休会でした。YouTubeでのメッセージの配信のみ行いました。
礼拝配信視聴者数7回 感謝

◎次週 2025年10月12日(日) 神学校日礼拝

招きの詞 詩編 90編 17節
聖書 マタイによる福音書 20章1-16節
メッセージ「本当の正しさ」牛田匡牧師
賛美歌 565番 (©JASRAC)、562番 (©JASRAC)、『アイオナ』58番 (©出版局)



◎お知らせ

- ・本日、礼拝後に、10月期の教会を考える会を開催する予定です。
- ・10月9日(木)9時半～11時半に、釜ヶ崎・いこいの家にて、「聖書を読む会」を開催いたします。テキストは「聖書の話あれこれ」でコピーを配布します。参加費は無料ですが、会場費としてカンパがあります。どなたでもご参加ください。
- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・本日の午後、14時～17時にかけて、東梅田教会にて映画「かば」鑑賞会が開催されます。差別と偏見、貧困など様々な問題を抱える環境の中、生徒たちに正面から向き合った実在した中学生教師たちの生き方を描いたドラマ。参加費は無料で、事前申込も不要です。どなたでもご参加ください。
- ・10月26日(日)17時～19時にかけて、八尾教会にて、「教会と天皇制」を考える特別委員会主催の連続座談会(第2回)「天皇制について考えてみたこと」が開催されます。発題者は岡山牧呼さん(大阪聖和教会員・大阪教区常置委員)です。昨年度「講演会」を開催したことに続き、今年度は連続座談会です。ZOOMでも参加が可能です。オンライン参加希望の方は、下記までメールでお申込みください。uccj.osaka.2.11@gmail.com

◎次週以降の行事予定

| | メッセージ | 行事 |
|-------|-------|---|
| 10/12 | 牛田匡牧師 | (神学校日) |
| 10/19 | 牛田匡牧師 | 収穫感謝礼拝・おにぎり支援 |
| 10/26 | 牛田匡牧師 | 誕生者祝福式 |
| 11/2 | 牛田匡牧師 | 召天者記念礼拝 13時半～ 王寺墓地・墓前礼拝 14時半～ 第二好意の庭 召天者記念礼拝 |

映画『かば』鑑賞会
部落解放協議会2025

前日に引き続き、映画『かば』を鑑賞し、人権とりわけ部落差別について考える時を持ちます。川本真弘監督を交えて、ざっくばらんに話し合う時間も予定しています。

1985年、夏
僕たちもセンシブもアツかった。

2025年
10月5日(日)
14:00～17:00

教:日本基督教団梅田教会
(大阪市北区藤崎町9-6)

参加費無料・申込不要

お問い合わせ
higashimedai@poo02.odn.ne.jp(東梅田教会)
大阪教区事務所
06-6761-8562

差別と偏見、貧困などさまざまな問題を抱える環境の中、生徒たちに正面から向き合った、実在した中学生教師たちの生き方を描いたドラマ。1985年夏、差別問題が噴出した大阪府西成区北部の中学校。元中学校長を志すという生徒たちに誕生した教師たちは手を組んでいた。臨時教員として赴任してきた加藤先生が生徒に受け入れられもたえず自信喪失する姿に、園先生は自身の野球で生徒と向き合うことを提案する。登校拒否になった転校生、家庭を離れない母親、流産りで在日朝鮮人の父と暮らす女生徒、出身地を本人に告白することができない帰国生、僻校への父親に代わって家庭を支える野球部主幹など、さまざまな事情を抱える生徒たち。増える教師たちは、彼らと向き合い、時には生徒の家庭へ強引に入り込んでまで、彼らの生き方を模索する。主人公・園先生役を大阪出身の山中アラタが演じる。監督は「秋桜舞」「車の下」の川本真弘。(映画.comの紹介文より抜粋)

「教会と天皇制」を考える特別委員会主催 連続座談会第2回

参加無料

**「天皇制について
考えてみたこと」**
発題者: 岡山牧呼
(大阪聖和教会員・大阪教区常置委員)

昨年度、「教会と天皇制」を考える特別委員会は連続講演会を開催しました。今年度からは、連続座談会を開催しています。座談会の形で、発題者のお話をお聞きして、参加者みんなで言葉や思いを交わし合う場になるように願っています。ふだん天皇制について考えていること、それを教会の宣教や課題、あるいは、教会自らが抱える構造的な問題と結びつけながら、天皇制によって構成された世界とは異なる世界の可能性を探っていきましょう。

第2回の座談会では、岡山牧呼さんが発題をしていただきます。この語り合いの場に、ぜひご参加ください。

2025.10.26 日

時間 17:00～19:00
会場 日本キリスト教団八尾教会
〒581-0074 大阪府八尾市栄町1-5-8

Zoomでも座談会の模様を配信いたします。オンラインにて参加を希望される方は、当委員会までメールにてお申し込みください。
アドレス: uccj.osaka.2.11@gmail.com